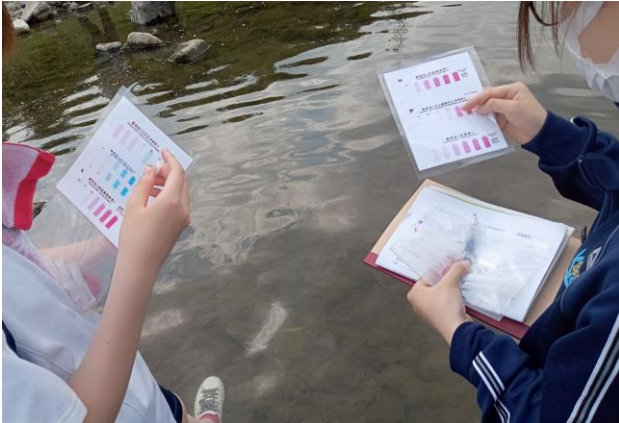


## 台湾サイエンスツアー 第1回事前学習

5/28(土)にあくあびあ芥川で事前学習を行いました。

3つの班に分かれて、芥川の水質と生息する底生生物、魚類の調査を行いました。

水質の調査では、水の化学的水質をキットを用いて分析しました。河川の水の色や匂い、透明度、pH、電気伝達度、窒素、リンなどの栄養塩、COD(化学的酸素要求量)を測定し、短期的な水の汚染の程度と汚染の原因について調査しました。水の採取もやり方によっては正確な結果が得られないため、みんなとても慎重に採取していました。



底生生物の調査では、河川の底に生きている生物を捕獲し、その種類を調べました。指標生物(生息できる環境条件が限られている生物)を調べることで河川の中長期的な汚染の程度を判別できます。みんな石をめくって、そこに住む生物を採集していました。石の下にそんなにたくさんの生物が住んでいるとは思ってもみなかったのか、採集できた数に驚く生徒が多かったです。



魚類の調査では、魚を捕獲し、生物多様性が保たれているかを調べました。魚を捕った経験がある生徒は少なく、みんな魚とり初心者ながらも一生懸命網を駆使して獲っていました。ドンコやヨシノボリ、ムギツクなどが捕れました。



ドンコ

今回の事前学習では 3 種類すべての調査を全員が行ったのですが、次回からは班に分かれて自分の興味のある調査を行うこととなります。今回の調査で、生徒たちの知的好奇心がよりいっそう刺激されたことだと思います。